ボーリングNo. 調査名 事業・工事名 シートN ボーリング名 調査位置 No. 1 栃木県宇都宮市清原 北 緯 発注機関 調査期間 東 経 ボーリン 現場 株式会社 地盤試験所 主任技師 調查業者名 代理人 鑑定者 電話 (03-5600-2911) グ責任者 孔口標高 試 錐 機 地盤勾配 上 水平 0° 使用機種 落下用具 総掘進長 ポンプ 標 層 深 色 相 相 記 掘 標 柱 土: 標準貫入試験 原位置試験 試料採取 試 験 名 水位 10cm毎の N 値 対 対 進 質 深 深 打擊回数 および結果 深 試 採 m 0 尺 高 厚 度 状 料 取 0 10 20 度 度 区 密 稠 測定月日 度 月 / 貫入量 番 方 5 5 S m m 号 10 20 30 m 法 図 調 度 日 分 m m m m 1 45 2. 15 上部砕石多量に混入。
0.5mよりアスファルトガラ。
時灰に色調変化。
0.5mより黒ぼくとロームの不規
則な互層状。
間格に色調変化。
5.0mより黒ぼくと縦灰質粘土の
不規則な互層状。
黄褐に色調変化。 4. 15 4. 4 5. 15 32 5. 47 6.15 6. 46 7. 15 31 軟全体に有機物混入。 7. 46 黒ボク 8. 15 32 8. 47 9. 15 中 火山砕屑物及びパミス粒子状に 混入。 黄褐 10 11. 46 粘土質 ローム 12 012.1 32 13 緩い 14 黄褐 鹿沼十 31 15 粘土質ローム 火山砕屑物及び茶色の酸化物不 規則に混入。 32 15. 4 16 17 中 火山砕屑物及びパミス粒子状に 混入。 若干の色調変化。下部礫点在。 凝灰質 粘土 6 30 18. 1 19 50 24 19. 3 20 20 24 20, 3 含水量中位 φ5~50mm程度の亜円礫主体。 (最大 φ80mm程度) マトリックスは粘土質砂。 20.7m付近より硬質礫多い。 23.0m付近より料土質砂礫。 21 37 13 50 12 黄褐 50 6 22 23

24. 3

24

25